

ポーランド政治・経済・社会情勢 (2013年11月7日～13日)

平成 25 年(2013 年)11 月 15 日

H E A D L I N E S

政治
 独立記念日に際する騒擾事件の発生
 コモロフスキ大統領がNATO演習を視察
 トウスク首相がトルコ首相と首脳会談
 第5回「V4+日本」外相会合の開催
 政府、バルカンミッション派遣期間延長案を大統領に上申

経済
 「V4+日本」外相会合で、開発協力に関する共同プロジェクトを発表
 EBRDが経済予測を上方修正
 ユーロ建の貿易赤字が増加傾向
 ポーランドが世界最大のリンゴ輸出国に
 記録的な菜種の収穫量
 ポリメックス・モストスタル社が大規模なリストラを予定
 シェールガスへの投資は2021年までに140億ズロチに達する見込み
 ピエホチンスキ経済相が新たなエネルギー政策目標を提案
 キリアン氏がPGE社のCEOを継続する見込み
 シェールガス探査に楽観的な情報なし
 PGE社がエネルギー社のIPOで株式購入見込み
 KGHM社はチリのシエラ・ゴルダ鉱山に集中

大使館からのお知らせ
 来週の「ポーランド政治・経済・社会情勢」休刊とさせていただきます
 COP19の開催に伴うポーランド来訪者へのご注意
 トルンにおける領事出張サービスについて
 東日本大震災義捐金受付について
 文化行事・大使館関連行事

読者からの情報提供
 秋の留学生演奏会のご案内

在ポーランド日本国大使館
 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000
http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
 問合せ先：大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

| | |
|---|---|
| 政 | 治 |
| 内 | 政 |

独立記念日に際する騒擾事件の発生【11日】

11日、当国独立記念日に際してワルシャワ市内で行われた民族主義的右派社会グループが主催する行進の一部参加者が暴徒化し、市内中心部のロシア大使館付近等において暴力行為が行われ、72名が拘束され、19名が負傷し、警察官も12名負傷する事態となった。今次騒擾事件をめぐっては、コモロフスキ大統領、トウスク首相共に受け入れ難い行為として非難の姿勢を明確にしており、

コモロフスキ大統領は集会関連法案にデモにおける覆面禁止条項を追加する大統領提案を改めて行う意向を示した。ロシアとの関係においては、13日、ポーランド外務省が駐ポーランド露大使に今次騒擾事件への深い遺憾の意を表明する口上書を手交した他、同日、コモロフスキ大統領が、ポーランド国家及び当局は乱暴行為を恥じ入ると共に右行為を謝罪しなければならない旨の発言を行った。

| | |
|---|---|
| 外 | 交 |
|---|---|

コモロフスキ大統領がNATO演習を視察【7日】

7日、コモロフスキ大統領はポーランド北西部ドラフスコで実施中のNATO即応部隊演習「ステッドファスト・ジャズ2013」を視察。ラスムセンNATO事務総長、ベルズインシュ・ラトビア大統領、ブトケビチュウス・リトアニア首相ら、同演習参加国からの多くの要人を前にスピーチし、NATOの集団防衛の重要性を訴えた。

第5回「V4+日本」外相会合の開催【11日】

11日、インド・デリーで開催されたASEM外相会合の機会に、岸田外務大臣とヴィシエグラード・グループ(V4:ポーランド、ハンガリー、チェコ、スロバキア)各国外相との間で第5回「V4+日本」外相会合が行われた。同会合では、東方パートナーシップ諸国及び西バルカン諸国における日本とV4による共同プロジェクトの実施等が合意された他、2014年「V4+日本」交流年のロゴマークの発表も行われた。

トウスク首相がトルコ首相と首脳会談【8日】

8日、トウスク首相はワルシャワを訪問したエルドアン・トルコ首相と首脳会談を行い、二国間関係全般、経済関係、トルコのEU加盟問題等につき意見交換を行った。なお、エルドアン首相はワルシャワ滞在中にコモロフスキ大統領及びコパチ下院議長とも会談を行った。

政府、バルカンミッション派遣期間延長案を大統領に上申【12日】

12日、政府はバルカン半島におけるKFOR(NATO)ミッションへのポーランド軍派遣期間の延長案を大統領に上申。延長期間は2014年6月末までで、約300名の派遣規模は変更無し。

| | |
|---|---|
| 経 | 済 |
|---|---|

| |
|---------|
| 経済・財政政策 |
|---------|

「V4+日本」外相会合で、開発協力に関する共同プロジェクトを発表【11日】

第5回「V4+日本」外相会合がニューデリーで開催され、東方パートナーシップ対象国及び西バルカン諸国に対する協力を確認し、6日にブダペストで開催された「V4+日本」ODAセミナーで決定

した(1)セルビアの環境対策、(2)セルビア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、モンテネグロの中小企業支援、及び(3)モルドバの医療改革の3つの共同プロジェクトで開発協力を推進していくことを発表した。

| |
|------------|
| マクロ経済動向・統計 |
|------------|

EBRDが経済予測を上方修正【11日】

欧州復興開発銀行(EBRD)は、最新の経済予測で2014年の経済成長率を0.3%ポイント上昇となる2.3%とした。2013年は1.2%で変わらず。EBRDは、ポーランド経済が再び上向きとなり、ユーロ圏の実質賃金が上昇していることを理由に挙

げた。なお、中欧全体の経済成長率予測は、2013年が0.9%、2014年が1.9%となっており、ポーランドは他の中欧諸国と比べ非常に高い経済予測となっている。

ユーロ建の貿易赤字が増加傾向【13日】

中央統計局(GUS)によれば、1月～9月の貿易赤字は、前年同期の8億ユーロより増加した8億9,610万ユーロとなっている。このうち、輸出は前年同期比6.3%増となる1,129億ユーロ、輸入は

同0.3%増となる1,138億ユーロ。対ドイツ輸出の割合は、同0.4%減、輸入も同0.2%減となっている。また、先進国への輸出の占める割合は81.6%、輸入は65.6%となっている。

ポーランド産業動向

ポーランドが世界最大のリンゴ輸出国に【8日】

年間820万トン、640万ユーロ相当のリンゴが国際貿易で取引されているが、昨秋から今春のシーズンで、ポーランドは中国を上回る120万トンのリンゴを輸出し、世界最大のリンゴ輸出国となった。依然として生産量に関しては中国が上回っているものの、国内市場での取引が主となっている。ポーランドのリンゴ輸出は今後も成長すると見られているが、新市場を開拓しなければ年5～6%以下の成長に止まる見込み。

2013年の菜種の収穫量は、前年比36.8%増となる260万トン記録した。菜種の輸入量は依然として多いものの、2013年～2014年は、加工輸出が大幅に伸びる見通し。

ポリメックス・モストスタル社が大規模なリストラを予定【13日】

経営再建中のポリメックス・モストスタル社(建設)は、リストラについて労働組合と合意した。2014年3月末までに実施され、約880人が解雇の対象となる見込み。

記録的な菜種の収穫量【12日】

エネルギー・環境

シェールガスへの投資は2021年までに140億ズロチに達する見込み【7日】

OPPPW(ポーランド探査・生産産業団体)は、2021年までにポーランドのシェールガス・プロジェクトへの投資は140億ズロチ(約4,400億円)に達する見込みと試算している。2010年から2012年には約20億ズロチが投資されている。OPPPWの会長で、3Legs Resources社のCEOである Parmar氏は、ポーランドでのシェールガス探査は加速されるべき、現状は平均58日程度を要している試掘孔の掘削を30日程度に短縮すべきと述べている。同団体の加盟企業は、開発速度を加速させるためには、手続きや規則の明確化、地方自治体との協力が必要としている。

ピエホチンスキ経済相が新たなエネルギー政策目標を提案【13日】

ピエホチンスキ経済相はブラッセルで開催された欧州議会の第4回欧州石炭デーの記者会見の場で、EUの気候・エネルギー政策に、低エネルギー及び低排出産業の割合を少なくとも20%引き上げること、エネルギー価格を20%削減すること、2つの新たな目標を設けることを提案した。現在は、エネルギー効率向上、再生可能エネルギーの導入、温室効果ガスの削減について、いずれも2020年までに20%を達成する目標が設けられている。同相は、3～4年後にEUと米国とのFTAが締結され、一つの経済圏が形成される可能性があるところ、米国のエネルギー価格の上昇

率は2005年以来1%以下である一方で、欧州では約25%上昇しており、エネルギー価格の上昇により、EUの競争力が減退していることに懸念を示している。

キリアン氏がPGE社のCEOを継続する見込み【13日】

14日にPGEグループCEOの選定に関する最終決定が行われる予定であるが、キリアン氏がCEO職を継続することが確実視されている。同CEOはグラド氏(現PGE EU1(原子力事業会社)CEO)と競い合ってきたとされているが、前国有財産相のグラド氏はカルピンスキ現国有財産相のグループに属する一方、キリアン氏はトウスク首相との関係が強いと言われており、グラド氏は政治的なコネクションの点でキリアン氏より大きく劣っている。他方、原子力プログラムに関するPGE社の方針は、首相府の関係者からも非難を受けてきた。カルピンスキ国有財産相は、キリアン氏の更迭を示唆しており、同氏の更迭には至らなかったものの、キリアン氏と関係の深い2名の副CEOが既に更迭され、代わりに同相と関係の深い2名の副CEOが指名されることが見込まれており、キリアン氏の前途は容易ではない。

シェールガス探査に楽観的な情報なし【13日】

ポーランド地質学研究所のナヴロツキ所長は、ポーランドでのシェールガス探査活動は停滞していると述べている。昨年よりも探査井の掘削数は

減っている。また同所長は、ポーランドでは探査活動の結果に関する情報を提供する法的義務が企業に課せられておらず、掘削井の採掘可能なガス量に関するデータが得られていないことを問題視しており、現在検討中の法律改正において、情報へのアクセスの確保を含めるべきと主張している。また、よい結果が得られれば企業はそれを公表するものであることから、掘削結果に関する情報が不足していることは、結果が芳しいものではなかったことを示唆するものと述べている。

PGE社がエネルギー社のIPOで株式購入見込み【13日】

PGE社（ポーランド最大の国有電力会社）は、エネルギー社（ポーランド第4位の国有電力会社）の新規株式公開で少数株式を購入することに関

心を示している。キリアン同社CEOは、真剣に検討していると記者会見で述べている。国有財産省は、エネルギー社の株式の34.18%分を年末までに売却することを予定している。

KGHM社はチリのシエラ・ゴルダ鉱山に集中【13日】

KGHM社（ポーランドの国有銀・銅鉱山会社）のヴィルツCEOは、チリのシエラ・ゴルダ鉱山建設事業に集中し、同プロジェクトが完了するまで新たな買収は行わないと述べた。同鉱山の操業開始は2014年第2四半期に予定されており、22万トンの銅と1.1万トンのモリブデン、2トンの金が20年にわたり採掘できることが見込まれている。

その他

ワルシャワは世界で4番目に混雑した都市【8日】

TomTom社の報告書によれば、ワルシャワでは、自動車の運転手は年間4日半を交通渋滞により失っている。これは、世界でモスクワ、イスタンブール、リオデジャネイロに次ぐ4番目となっている。指数は44で、道路インフラへの投資にも関わらず、2012年の42から悪化している。

新世界通り(Nowy Swiat)が世界第49位の主要通りにランキング【13日】

Cushman & Wakefield社の世界の主要通り(Main Streets Across The World)ランキングで、

ワルシャワの新世界通り(Nowy Swiat)がポーランドで最も地価が高いとされ、世界では第49位にランキングされた。賃料は1平米あたり996ユーロで昨年よりも2.4%下落した。中東欧地域では、ウクライナ・キエフのKreschatik通り(2,308ユーロ)、チェコのNa Prikope/Wenceslas Square(2,160ユーロ)、ハンガリー・ブダペストのVaci utca(936ユーロ)が新世界通りよりも高地価となっている。ポーランドでは、クラクフのFlorianska通り(936ユーロ)、ワルシャワのChmielna通り(828ユーロ)が高地価となっている。

大使館からのお知らせ

来週の「ポーランド政治・経済・社会情勢」休刊とさせていただきます

大使館都合により、「ポーランド政治・経済・社会情勢」11月22日号は休刊とさせていただきます。次回発行日は、11月29日(金)を予定しております。恐れ入りますが、よろしくお願いいたします。

COP19の開催に伴うポーランド来訪者へのご注意

本年11月11日から22日までの間、ポーランドのワルシャワ市において第19回気候変動枠組条約締約国会議(COP19)が開催される予定です。同開催に伴うポーランドへの来訪者への出入国上のご注意を当館HPに掲載しております。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/documents/COP19_2013.pdf

トルンにおける領事出張サービスについて

大使館は、11月30日(土)10時から13時までの間、Hotel Mercure Helios(ul. Kraszewskiego 1/3, Torun)において、領事出張サービスを実施します。詳しくは下記当館HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/torun_consservice20131130.pdf

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成26年3月31日(月)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm

文化行事・大使館関連行事

【開催中】 鏝・日本装飾技術の傑作展【10月12日(土)～2014年3月9日(日)】

トルン市にて、ポーランドのコレクションから日本鏝の展示会が開催されています。

問合せ先:トルン地域博物館 (Muzeum Okregowe w Toruniu)

ホームページ: <http://www.muzeum.torun.pl/portal.php>

開催場所:トルン市, Kamienica pod Gwiazda, Rynek Staromiejski 35

【開催中】「ポーランド・日本。友好の100年」書道展示【11月12日(火)～12月1日(日)】

クラクフ市の日本美術技術博物館にて高橋里江氏による書道展が開催中です。書道ワークショップも行われます。

開催場所:日本美術技術博物館(クラクフ)

問合せ: 電話 12-267-37-53

詳細: <http://manggha.pl/>

【開催中】「Jazztopad」音楽フェスティバル【11月14日(木)～24日(日)】

ヴロツワフ市にて、ジャズの音楽祭が開催されます。22～23日は特に日本のアーティストのコンサートや映画上映会、和食の紹介が予定されています。

開催場所: Filharmonia Wroclawska, Pilsudskiego 19

問合せ・申込み先: 電話 71-343-85-28

詳細: www.filharmonia.wroclaw.pl

【予定】ウヅジ市日本ウィーク【11月20日(水)～23日(土)】

ウヅジ市の国立ウヅジ考古学民族博物館にて、「ウヅジ市日本ウィーク」が開催されます。映画上映・日本に関する講演・書道、あやとり、折り紙、盆踊りのワークショップなど、さまざまな行事が行われます。

開催場所: 国立ウヅジ考古学民族博物館 (Muzeum Archeologiczne i Etnograficzne) pl. Wolnosci 14, Lodz

詳細: <http://bunka.org.pl/>

【予定】第8回日本文化デー【11月22日(金)】

ノヴァ・ルダ市の文化センターにて、「第8回日本文化デー」が開催されます。映画上映・展示・ワークショップなど、さまざまな行事が行われます。

開催場所: MOK, ul. Strzelecka 2a, Nowa Ruda

問合せ: 電話 74 872 44 84

詳細: www.mok.nowaruda.pl

【予定】ポーランド青少年極真空手選手権大会【11月23日(土)】

カリシュ市にて極真空手の青少年大会が開催されます。

開催場所: スポーツホール, ul. Lodzka 29, Kalisz

詳細: <http://www.karatekalisz.pl/aktualnosci/152-zapraszamy-23-listopada-do-kalisza>

【予定】学会「日本発見」【11月23日(土)】

ビドゴシチ市にて日本の観光に関する学会「日本発見」が開催されます。入場は無料です。

開催場所: Hotel Brda, ul. Dworcowa 94, Bydgoszcz

詳細: <http://konferencje.kirin.pl/>

【予定】第27回ヨーロッパ極真空手選手権大会【11月29日(金)～30日(土)】

第12回日本文化フェスティバル【11月25日(月)～30日(土)】

レグニツァ市にて空手大会と日本文化フェスティバルが開催されます。空手選手権大会と折紙・着付け・書道ワークショップなど、さまざまな行事が行われます。

開催場所: OSiR, ul. Lotnicza 52, Legnica

詳細: <http://www.europeankyokushin2013.eu/index.php>

【予定】日本文化行事「日本を発見しよう!」【11月30日(土)】

ワルシャワ南プラガ地区の文化プロモーションセンターにて日本文化行事が開催されます。書道や紙人形、折紙などのワークショップ・合気道・剣道のデモ等、さまざまな行事が行われます。入場は無料です。

開催場所: CPK, ul. Podskarbinska 2, Warszawa

問合せ: 電話 22 517 65 75

詳細: www.cpk.art.pl

【予定】中村絃子氏のコンサート【12月3日(火)19時】

ワルシャワのフィルハーモニーホールにて日本の著名なピアニスト中村絃子氏が演奏します。

開催場所: Filharmonia Narodowa, Warszawa

問合せ: 電話 22 55 17 111

詳細: http://www.filharmonia.pl/koncerty_wlasne.pl.html;m1884

読者からの情報提供

秋の留学生演奏会のご案内

トルン市にて、ポーランド日本人会主催の留学生演奏会が開催されます。トルンは地動説で有名なコペルニクス生誕の地です。そのコペルニクスにちなんで、今回の演奏会のテーマは、「秋の星空」となっております。日本人留学生のほか、ポーランド人学生も参加予定です。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

日時: 2013年11月16日(土) 14時開演(13時50分開場)

場所: Centrum Kultury Dwor Artusa (Rynek Staromiejski 6, 87-100, Torun)

問合せ先: ポーランド日本人会事務局 (biuro@nihonjinkai.pl)

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 news@mail@wr.mofa.go.jp](mailto:news@mail@wr.mofa.go.jp)

(ご連絡は電子メールでお願いします。)